

「年金をどうする～世代の選択」 討論前

ご回答いただいたアンケートの内容は、統計数値としてまとめますので、今回の討論型世論調査以外に皆様の個人情報を使用するなど、ご回答いただいたことによつてご迷惑をおかけすることはありません。

<ご記入いただく前に>

- ・氏名・住所・電話番号など個人を特定するような情報の記入は必要ありません。
- ・本アンケートは表紙を含めて6ページあります(落丁がある場合はお知らせください)。

<回答記入に関して>

- ・ご回答なさる際、他の人に聞いたり、資料を読んだりして答える必要はありません。あくまでも、ご自身の考えで回答してください。
- ・ご回答は、本アンケート用紙の当てはまる番号に直接マルをつけてください。
- ・ご記入が終わりましたら、係が回収しますので、お渡してください。

ご回答は、選択肢番号を1つだけ選んでマルをつけてください。

Q1. 3月11日の東日本大震災を経験して、あなたの人生設計は変わりましたか。

1. 大きく変わった
2. ある程度変わった
3. あまり変わらない
4. まったく変わらない
5. その他 (記入欄→) _____

Q2. この大震災を経験して、いざという時に地域のつながりは重要だと思ふようになりましたか。

1. 強くそう思うようになった
2. ややそう思うようになった
3. そう思わない
4. まったくそう思わない
5. その他 (記入欄→) _____

Q3. まず、いまの政治などについてお聞きします。あなたは、菅内閣を支持しますか。支持しませんか。

1. 支持する
2. 支持しない
3. その他 (記入欄→) _____

Q4. あなたはいま、どの政党を支持していますか。

- | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 民主 | 自 | 公 | 共 | 社 | み | 国 | た | 新 | 新 | そ | 支 |
| 党 | 民 | 明 | 産 | 民 | ん | 民 | ち | 党 | 党 | の | 持 |
| | 党 | 党 | 党 | 党 | な | 新 | あ | 日 | 改 | 他 | 政 |
| | | | | | の | 党 | が | 本 | 革 | の | 党 |
| | | | | | 党 | | れ | | | 政 | なし |
| | | | | | | | 日 | | | 党 | |
| | | | | | | | 本 | | | | |

Q5. あなたは、いまの生活にどの程度満足していますか。

1. 大いに満足している
2. ある程度満足している
3. あまり満足していない
4. まったく満足していない
5. その他 (記入欄→) _____

Q6. あなたは、いまの政治にどの程度関心がありますか。

1. 大いに関心がある
2. ある程度関心がある
3. あまり関心はない
4. まったく関心はない
5. その他 (記入欄→) _____

Q7. あなたは、日本の政治をどの程度信頼していますか。

1. 大いに信頼している
2. ある程度信頼している
3. あまり信頼していない
4. まったく信頼していない
5. その他 (記入欄→) _____

Q8. いまの日本の政治は、社会の将来像や道すじを示していると思いますか。それとも、示していないと思いますか。

1. 示している
2. 示していない
3. その他 (記入欄→) _____

次のページの左上のQ9に進んでください



Q9. わたしたちの生活をよくするために、政治はどの程度役に立っていると思いますか。

1. 大いに役に立っている
2. ある程度役に立っている
3. あまり役に立っていない
4. まったく役に立っていない
5. その他 (記入欄→) _____

Q10. あなたは、いまの日本の政治は、国民の意思をどの程度反映していると思いますか。

1. 大いに反映している
2. ある程度反映している
3. あまり反映していない
4. まったく反映していない
5. その他 (記入欄→) _____

Q11. あなたは、これからの日本の政治に、どの程度期待していますか。

1. 大いに期待している
2. ある程度期待している
3. あまり期待していない
4. まったく期待していない
5. その他 (記入欄→) _____

Q12. あなたは、いまの世の中には、信用できる人が多いと思いますか。それとも、信用できない人が多いと思いますか。

1. 信用できる人が多い
2. 信用できない人が多い
3. その他 (記入欄→) _____

Q13. 失業や貧困は、個人の責任のほうが大きいと思いますか。それとも、社会の責任のほうが大きいと思いますか。

1. 個人の責任のほうが大きい
2. 社会の責任のほうが大きい
3. その他 (記入欄→) _____

Q14. 「社会保障を充実させると、税金や保険料の負担が増えて経済に悪い影響がある」という意見と、「社会保障を充実させると、老後への不安が少なくなって消費が活発になるなど経済に良い影響がある」という意見があります。あなたの考えはどちらに近いですか。

1. 経済に悪い影響がある
2. 経済に良い影響がある
3. その他 (記入欄→) _____

Q15. 「社会保障が充実すると働く意欲が失われる」という意見があります。あなたは、この意見に賛成ですか。反対ですか。

1. 賛成
2. 反対
3. その他

Q16. あなたは、医療にかかるお金や老後の生活を支えるお金は、個々人でなんとかすべきだと思うほうですか。それとも、社会全体で支え合うべきだと思うほうですか。

1. 個々人でなんとかすべきだと思うほう
2. 社会全体で支え合うべきだと思うほう
3. その他 (記入欄→) _____

Q17. 社会保障の負担と給付のあり方を考えたとき、これからの日本は次の2つのうち、どちらの方向を目指したほうがよいと思いますか。あなたの考えに近いほうを選んでください。

1. 国民の負担を今より増やして、社会保障を維持・充実させるほうがよい
2. 社会保障の水準は下がってもよいので、国民の負担を今より軽くするほうがよい
3. その他 (記入欄→) _____

Q18. 少子高齢化が進んで社会保障の財源が足りなくなった場合、どうやって費用をまかなうべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを1つだけ選んでください。

1. 消費税を引き上げる
2. 所得税や法人税を引き上げる
3. 保険料を引き上げる
4. 税や保険料は上げずに社会保障のサービスを減らす
5. その他 (記入欄→) _____

Q19. あなたは、老後の生活費をどうやってまかなおうと思いますか。

1. 年金だけでまかなう
2. 年金を中心にして、貯蓄や他の収入で補う
3. 貯蓄や他の収入を中心にして、年金で補う
4. 貯蓄や他の収入だけでまかなう
5. その他 (記入欄→) _____

Q20. あなたは、老後にどの程度収入があれば、夫婦ふたりで、ある程度ゆとりのある生活が送れると思いますか。

- | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 程月 | 程月 | 程月 | 程月 | 以月 | そ |
| 度10 | 度20 | 度30 | 度40 | 上50 | の |
| 万 | 万 | 万 | 万 | 万 | 他 |
| 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | |

次に右上の Q21 に進んでください

Q21. あなたは、厚生年金や国民年金などの公的年金制度にどの程度関心がありますか。

1. 大いに関心がある
2. ある程度関心がある
3. あまり関心がない
4. まったく関心がない
5. その他（記入欄→） _____

Q22. あなたは、厚生年金や国民年金などの公的年金制度を、どの程度信頼していますか。

1. 大いに信頼している
2. ある程度信頼している
3. あまり信頼していない
4. まったく信頼していない
5. その他（記入欄→） _____

Q23. あなたは、公的年金制度は将来にわたって続けていくことができると思いますか。そうは思いませんか。

1. 続けていくことができる
2. そうは思わない
3. その他（記入欄→） _____

Q24. 政府は「ねんきん特別便」や「ねんきん定期便」を加入者に郵送し、加入記録などの情報を提供しています。あなたは、特別便や定期便の内容を読んでいますか。読んでいませんか。

1. 読んでいる
2. 読んでいない
3. その他（記入欄→） _____

Q25. あなたは、ご自身の年金記録が正確かどうか、不安を感じていますか。感じていませんか。

1. 不安を感じている
2. 不安は感じていない
3. その他（記入欄→） _____

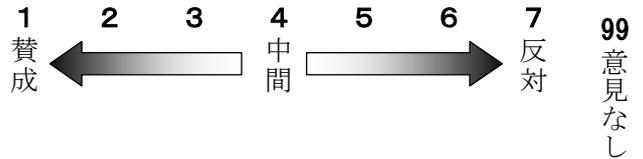
Q26. あなたは、今の年金制度は保険料の支払いや受給額の面で公平な仕組みになっていると思いますか。なっていないと思いますか。

1. 公平な仕組みになっている
2. 公平な仕組みになっていない
3. その他（記入欄→） _____

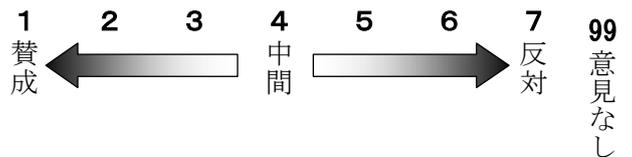
Q27. あなたは、公的年金の保険料負担は、適度な負担だと思いますか。それとも、割に合わないと思いますか。

1. 適度な負担だ
2. 割に合わない
3. その他（記入欄→） _____

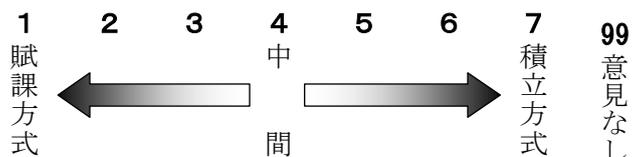
Q28. すべての年金に共通する基礎年金部分の保険料の徴収をやめ、その分、消費税を引き上げて年金の財源にあてるという考え方がありませんか。あなたは、この考え方に賛成ですか。反対ですか。強い賛成を1、強い反対を7、ちょうど中間を4として、あなたの考えに一番近いと思う番号にマルをつけてください。



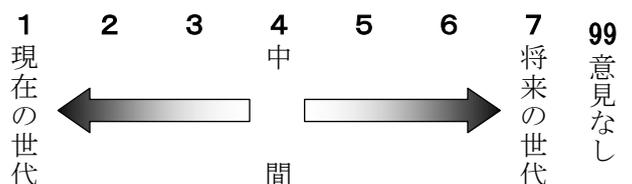
Q29. 払った保険料に応じて年金を受け取る所得比例年金をもとに、今の基礎年金制度を廃止して、年収の低い人に支給する最低保障の年金制度を創設するという案に賛成ですか。反対ですか。



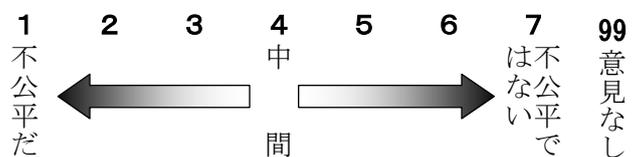
Q30. 年金制度には、働いている現役世代が払った保険料を財源として、現在のお年寄りの年金を支給する「賦課（ふか）方式」と、自分たちの世代が現役時代に払った保険料を積み立てておき、老後にその運用益とともに給付を受ける「積立方式」があります。年金制度には、賦課方式と積立方式のどちらがふさわしいと思いますか。



Q31. 公的年金制度の改革は、すでに年金を受給している現在の世代を中心に考えるべきだと思いますか。それとも、これから年金に加入する将来の世代を中心に考えるべきだと思いますか。あなたの考えに一番近い番号にマルをつけてください。



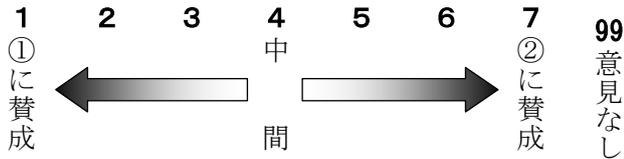
Q32. いまの年金制度では、少子高齢化が進むと、現役世代が払う保険料が増えたり、もらえる年金額が減ったりします。その結果、保険料負担に対してもらえる年金額は若い世代ほど少なくなります。あなたは、このように世代間で負担と給付のバランスに違いがでることは不公平だと思いますか。不公平ではないと思いますか。あなたの考えに一番近い番号にマルをつけてください。



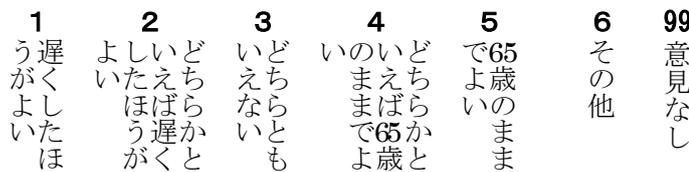
次のページの左上のQ33に進んでください



Q33. 少子高齢化が進むことを考えたとき、これからの公的年金制度について、①「保険料や税金の負担を今より重くし、給付の水準を維持・向上する」という考え方と、②「給付の水準を今より低くし、保険料や税金の負担を抑える」という考え方があります。あなたの考えに一番近い番号にマルをつけてください。



Q34. 年金が受け取れるのは、いまの移行期間が過ぎれば原則として65歳からになります。あなたは、少子高齢化が進むことを考えると、年金を受け取れる年齢をもっと遅くしたほうがよいと思いますか。65歳のままのほうがよいと思いますか。あなたの考えに一番近いものを1つだけ選んで下さい。



Q35. あなたは、社会保障の財源を確保するために、消費税を引き上げることに賛成ですか。反対ですか。

1. 賛成
2. 反対
3. その他

1を選んだ方は、Q35-A もお答えください。

Q35-A. では、社会保障のために消費税の税率をいまの5%から引き上げるとしたら、あなたは、何%ぐらいまでなら認めてもよいと思いますか。

1. 7%
2. 10%
3. 15%
4. 20%
5. その他 (記入欄→)

Q36. あなたは、消費税を引き上げる場合は、その前に衆議院を解散して総選挙をする必要があると思いますか。その必要はないと思いますか。

1. 衆議院を解散して総選挙をする必要がある
2. その必要はない
3. 考えたかたがない

Q37. 消費税の使い道を年金、高齢者医療、介護といった社会保障分野に限り、その費用の増加に合わせて消費税の税率を引き上げるべきだという意見があります。あなたは、この意見に賛成ですか。反対ですか。

1. 賛成
2. 反対
3. その他 (記入欄→)

Q38. あなたは、年金問題での政府の取り組みをどの程度評価しますか。

1. 大いに評価する
2. ある程度評価する
3. あまり評価しない
4. まったく評価しない
5. その他 (記入欄→)

Q39. あなたは、政府や政党はこれからの年金制度のあり方をどうするべきかについて、判断する材料を国民に示していると思いますか。示していないと思いますか。

1. 示している
2. 示していない
3. その他 (記入欄→)

Q40. あなたは、政権交代したことで、社会保障制度の改革は前進したと思いますか。後退したと思いますか。それとも、変わらないと思いますか。

1. 前進した
2. 後退した
3. 変わらない
4. その他 (記入欄→)

Q41. 菅内閣は、社会保障と税の一体改革を進めるとしています。あなたは、この取り組みにどの程度関心がありますか。

1. 大いに評価する
2. ある程度評価する
3. あまり評価しない
4. まったく評価しない
5. その他 (記入欄→)

Q42. あなたは、菅内閣の社会保障と税の一体改革への取り組みに期待しますか。期待しませんか。

1. 期待する
2. 期待しない
3. その他 (記入欄→)

Q43. 社会保障と税の一体改革は、与党と野党が党派を超えて一緒に議論して結論を出すほうがよいと思いますか。それとも、与党と野党が別々に案をまとめ、衆議院選挙で争点にするのがよいと思いますか。

1. 与党と野党が党派を超えて一緒に議論して結論を出すほうがよい
2. 与党と野党が別々に案をまとめ、衆議院選挙で争点にするのがよい
3. その他 (記入欄→)

次に右上の Q44 に進んでください

Q44. 税金や年金、健康保険などをまとめて管理するための共通の番号をすべての国民に割り振ろうという考え方があります。これについて、公平な課税や社会保障給付に必要なだという意見と、プライバシーが侵害されるので導入すべきではないという意見があります。あなたは、共通番号の導入に賛成ですか。反対ですか。

1. 賛成 2. 反対 3. その他

Q45. あなたは、子育ては社会全体で支援するべきだと思いますか。個人の責任ですることなのでその必要はないと思いますか。

1. 社会全体で支援するべき
2. 個人の責任ですることなのでその必要はない
3. その他（記入欄→） _____

Q46. あなたは、子育てにかかる費用について、公的な負担をもっと増やすべきだと思いますか。いまの程度で十分だと思いますか。それとも、いまより減らすべきだと思いますか。

1. 公的な負担をもっと増やすべきだ
2. いまの程度で十分だ
3. いまより減らすべきだ
4. その他（記入欄→） _____

Q47. これからの社会保障や公的サービスを考えたとき、次のどちらに力を入れたほうがよいと思いますか。あなたの考えに近いほうを選んでください。

1. 年金や医療など高齢者の社会保障の充実
2. 子育てや雇用支援など現役世代の社会保障の充実
3. その他（記入欄→） _____

Q48. 2010年現在の日本で、65歳以上の高齢者数の全人口における比率はどのくらいだと思いますか。

1. 5～10%
2. 10～15%
3. 15～20%
4. 20～25%
5. わからない

Q49. 日本の年金制度は賦課方式を採用しています。1970年には8.5人の現役世代で1人の高齢者を支えていました。2010年現在では、何人の現役世代で高齢者1人を支えているでしょうか。

1. 1人
2. 1.5人
3. 2人
4. 2.5人
5. 3人
6. わからない

Q50. 2010年3月末現在の国民年金保険料の納付率は、およそどのくらいだと思いますか。

1. 50%
2. 60%
3. 70%
4. 80%以上
5. わからない

Q51. 日本の平均寿命は、どのくらいだと思いますか（2010年現在）。

- (1) 男性
1. 76歳 2. 80歳 3. 84歳 4. 88歳
5. わからない

Q52.

- (2) 女性
1. 78歳 2. 82歳 3. 86歳 4. 90歳
5. わからない

Q53. 基礎年金を受け取るためには何年以上、保険料を納めればよいですか。

1. 5年
2. 10年
3. 20年
4. 25年
5. わからない

Q54. 保険料をもらえず納めた場合、受給できる基礎年金はいくらですか。

1. 55,000円
2. 60,000円
3. 66,000円
4. 70,000円
5. わからない

Q55. あなたは、男性ですか。女性ですか。

1. 男性 2. 女性

Q56. あなたは、いま何歳ですか。

1. 20～24歳 2. 25～29歳
3. 30～34歳 4. 35～39歳
5. 40～44歳 6. 45～49歳
7. 50～54歳 8. 55～59歳
9. 60～64歳 10. 65～69歳
11. 70～74歳 12. 75～79歳
13. 80～84歳 14. 85歳以上

次のページのQ57に進んでください

Q57. あなたのご職業についてお聞きします。下表の左端にある1～6の番号の中から1つマルをつけてください。どれにあたるかわからない方は、「6」にマルをつけ、「その他」の欄にご職業をお書きください。

1	事務職	一般事務・営業・経理・総務・秘書など 公務員・教職員など
	専門・技術	お勤めの方で医師・弁護士・会計士などの有資格者 お勤めの方で専門職や技術職の方
	管理職	民間企業の課長職以上の方、管理的公務員 勤務医などの専門職で院長や部門長
2	製造	衣服・食品・機械・家などのものづくり
	販売 サービス	店員・保険などの外交員・不動産仲介など ホテル・飲食・理容・警備・清掃業など
3	自営	経営者、医師・弁護士・会計士などのうち自営の方 美術・芸能・スポーツなどに関わる自由業の方
4	農林漁業	農業・酪農・林業・園芸・漁業など
5	主婦	おもに専業主婦の方
6	無職	おもに年金生活の方 学生の方 特定の職についていない方
	その他	(記入欄)

Q58. あなたは、現在、結婚なさっていますか。

1. 未婚
2. 既婚 (配偶者あり)
3. 既婚 (離別・死別)
4. その他

Q59. あなたの最終学歴を教えてください。
(在学中の方は、いま通っている学校を選んでください)

1. 小・中学校 (または旧制高等小学校)
2. 高校 (または旧制中学、高等女学校など)
3. 専門学校
4. 短大・高専
5. 大学
6. 大学院
7. その他 (記入欄→) _____

Q60. あなたのお住まいは、次のうちどれですか。

1. 持ち家 (一戸建て)
2. 持ち家 (マンション・アパートなどの集合住宅)
3. 賃貸住宅・社宅 (一戸建て)
4. 賃貸住宅・社宅
(マンション・アパートなどの集合住宅)
5. その他 (記入欄→) _____

Q61. あなたの生活水準は、次の中ではどこに入ると
思いますか。

1	2	3	4	5	6	7
上	上	中	中	中	下	下
の	の	の	の	の	の	の
上	下	上	中	下	上	下

Q62. あなたがいま、加入している公的年金はどれですか。

1. 国民年金① (自営業者とその配偶者、学生、無職の方など)
2. 国民年金②
(会社員などサラリーマン家庭の専業主婦の方)
3. 厚生年金 (会社員の方)
4. 共済年金 (公務員、団体職員、教職員の方)
5. その他 (記入欄→) _____

Q63. ところで、あなたのお宅には、家庭用の固定電話がありますか。(携帯電話のみの方は「ない」にマル)

1. ある
2. ない

Q64. ご自分の家の中で、あなたが電話で人と話す
ときには、「ご家庭の固定電話」と「携帯電話」の
どちらをおもに利用していますか。あなたの利用状況
に一番近いものを1つだけ選んでください。

1. 携帯電話しか利用していない
2. ほとんど携帯電話を利用し、たまに固定電話を利用
3. どちらかといえば携帯電話の利用が多い
4. どちらかといえば固定電話の利用が多い
5. ほとんど固定電話を利用し、たまに携帯電話を利用
6. 固定電話しか利用していない
7. その他 (記入欄→) _____

Q65. あなたは、インターネットを使っていますか。

1. 使っていない
2. 月に数回使う
3. 週に数回使う
4. 毎日1時間程度使う
5. 毎日2時間程度使う
6. 毎日3時間以上使う
7. その他 (記入欄→) _____